

(2) 第2年次

第2年次は技術・家庭科に新設された「情報基礎」領域を研究対象に加えて教材開発を継続するとともに、いくつかの教材について、実際にそれらを使った授業を研究協力校で実施した。

開発教材の効果についての評価は、研究構想で決めた、次の「教材開発の視点」に沿って行った。

- 関心をもって意欲的に取り組める教材
- 問題点の認識や問題解決のための直感力を養える教材

○ 柔軟な想像力や論理的な思考力を高め、創意工夫が図れる教材

○ 問題解決の手順や技能、表現力が習得できる教材

○ 自主的、持続的な態度が身に付く教材

評価の方法については、観察法と質問紙法によって行った。

以下に、2年次の開発教材を中心に授業実践の結果も含めて紹介する。

II 開発教材一覧

1 小学校理科

(◎印は授業で試行した教材)

区分	学年	単 元 名	開 発 教 材	開発年次
A	3	人のからだをしらべよう	○ 骨と筋肉のモデル	2
		チョウをそだてよう	○ フタホシココロギの飼育とその活用	1
		こん虫のからだをしらべよう	○ シミュレーションによる昆虫の学習	2
	4	生き物の1日と人のからだ	○ ポーチュラカ類の開花運動の観察	1
	5	動物と人のたんじょう	◎ 重さを体感できる胎児モデル	2
		魚の育ち方	○ めもり付きスライドガラス	2
6	人とかんきょう	○ インジゴカーミンを用いた酸素の検出法 ○ 土の中の小動物を調べる装置	1 2	
B	4	ものの重さとてんびん	◎ 上皿てんびんづくり	1
	6	電磁石と発熱	○ 豆電球を用いた電流による発熱量測定	1
C	5	月と太陽	○ 月・太陽用簡易ビデオ撮影システム ○ パソコンを用いた地球の動きと太陽の見え方のシミュレーション	1 2
			6	大地のつくり

2 中学校技術・家庭科

領域	学年	題 材 名	開 発 教 材	開発年次
家庭生活	1	わたしたちと家庭生活	○ パソコンを活用した家庭生活自己診断	1
		室内の整備と美化に役立つ小物の製作	○ 小物の製作	1
		食事づくり	◎ 栄養バランス君 ○ 食品模型	2 2
情報基礎	3	コンピュータの基本操作と情報の活用	◎ BASIC言語学習支援ソフトウェア ◎ アンケートを集計して報告書を作ろう	2 2